

「環境安全マネジメント学分野研究」及び「放射線安全推進研究」に関する情報交換会2020

《第1部》 東京大学 客員研究員等の活動報告

《第2部》 キーワード別の論点整理

- ーラドン、放射性廃棄物、放射線計測
- ー世論調査、放射線健診、個人線量評価
- ー標準線源、校正、トレーサビリティ
- ー放射線リテラシー、NORM線源、放射線安全文化
- ーエアロゾル、ラドン、分布・動態
- ー環境放射能、分布・動態、不確実性
- ー環境放射能、分布・動態、PSF
- ー内部被ばく、緊急時評価、モニタリング計画
- ー再生利用、現存被ばく状況、防護体系適用
- ー水素、リスクマネジ・アセス、化学物質管理
- ー放射線防護、放射線安全推進、規制科学



実施日：2020年6月6日（土）

実施者：飯本、高木、戸田

2018年から定例会のひとつとして位置づけている同研究会は、今回はCOVID-19に関する状況を勘案し、遠隔での開催となった。参加者は48名で大変に盛況であった。

令和2年STIFワークショップ 「多角的視点で"最適化"を考える」

《第1部》 公開講演

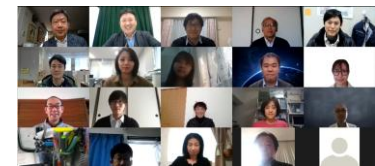
- (1)放射線安全文化に関する新しいアプローチ
- (2)汚染物再生利用の是非に関する議論に必要となる放射線防護上の視点

《第2部》 令和2年における関連の活動報告

- (1) オペレーションズ・リサーチ
- (2) 安全システムと計算科学
- (3) リスクマネジメントの数理モデル
- (4) 原子力災害から10年目、住民対応の変遷
- (5) 環境修復と合意形成
- (6) 経済性工学
- (7) 放射線防護体系とその履行
- (8) 医療領域における防護の最適化

《第3部》

総合討論



実施日：2020年12月27日（日）

実施者：鈴木、飯本、高木、戸田

2019年から定例会のひとつとして位置づけている同ワークショップは、今回はCOVID-19に関する状況を勘案し、遠隔での開催となった。参加者は25名で大変に盛況であった。